

情報連絡員・関係機関 各 位

高知県中小企業団体中央会
(公印省略)

情報連絡員報告総括表（令和8年6月次）の送付について

標記総括表を取りまとめましたので、ご参考までに送付いたします。

令和8年6月次情報連絡員報告のまとめ

※DI とは、「好転」と回答した企業の割合－「悪化」と回答した企業の割合。
DI 値がマイナスの場合は、悪化したと回答した企業の数が多いことを示す。

《調査対象：製造業 15 組合等、非製造業 19 組合等 計 34 組合等 回答率：100.0%》

【製造業】では、「販売価格」(DI 値 20.0)・「取引条件」(DI 値▲6.7)・「設備操業度」(DI 値▲20.0)は 6.7 ポイント前月より悪化した。「収益状況」(DI 値▲46.7)・「資金繰り」(DI 値▲6.7)・「雇用人員」(DI 値 0.0)・「業界の景況」(DI 値▲40.0)は前月と同水準となった。「売上高」(DI 値▲6.7)は 6.6 ポイント、「在庫数量」(DI 値 13.3)は 6.6 ポイント前月より改善した。

【非製造業】では、「売上高」(DI 値▲31.6)は 10.5 ポイント前月より悪化した。「収益状況」(DI 値▲36.8)・「資金繰り」(DI 値▲21.1)・「取引条件」(DI 値▲10.5)は前月と同水準となった。「在庫数量」(DI 値 20.0)は 30.0 ポイント、「販売価格」(DI 値 21.1)は 5.3 ポイント、「雇用人員」(DI 値▲21.1)・「業界の景況」(DI 値▲31.6)は 5.2 ポイント前月より改善した。

【全体】では、「取引条件」(DI 値▲8.8)は 2.9 ポイント、「設備操業度」(DI 値▲20.0)は 6.7 ポイント前月より悪化した。「販売価格」(DI 値 20.6)・「資金繰り」(DI 値▲14.7)は前月と同水準となった。「在庫数量」(DI 値 16.0)は 16.0 ポイント、「雇用人員」(DI 値▲11.8)は 2.9 ポイント前月より改善した。

なお、主要指標については、「売上高」(DI 値▲20.6)は 3.0 ポイント前月より悪化、「収益状況」(DI 値▲41.2)は前月と同水準となり、「業界の景況」(DI 値▲35.3)は 2.9 ポイント前月より改善した。

県内各業界別の動向

<令和8年6月>

高知県中小企業団体中央会

1. 情報連絡員報告総括表

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	0	1	1	0	2	0	2	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2
	繊維工業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	木材・木製品	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	1	2
	紙・紙加工品	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0
	印刷	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
	化学ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窯業・土石製品	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0
	一般機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	輸送用機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
	製造業その他	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
小計		2	10	3	2	13	0	4	10	1	0	14	1	0	8	7	0	14	1	0	12	3	2	11	2	0	9	6
非製造業	卸売業	1	0	2	1	2	0	2	1	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	X			0	3	0	0	2	1
	小売業	2	1	1	1	3	0	0	3	1	0	4	0	1	2	1	0	3	1				0	2	2	1	2	1
	商店街	0	1	2	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	1	2	0	3	0				0	3	0	0	1	2
	サービス業	0	1	4	X			1	4	0	0	4	1	0	2	3	0	3	2				0	5	0	0	3	2
	建設業	1	1	0				1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0				0	2	0	0	2	0
	運輸業	0	1	1				0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1				0	0	2	0	1	1
	その他	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0
	小計	4	5	10	2	8	0	5	13	1	0	17	2	1	10	8	1	13	5	X			0	15	4	1	11	7
合計		6	15	13	4	21	0	9	23	2	0	31	3	1	18	15	1	27	6				2	26	6	1	20	13

2. 景気動向指数（売上高、収益の状況、業界の景況）

【5月分集計】

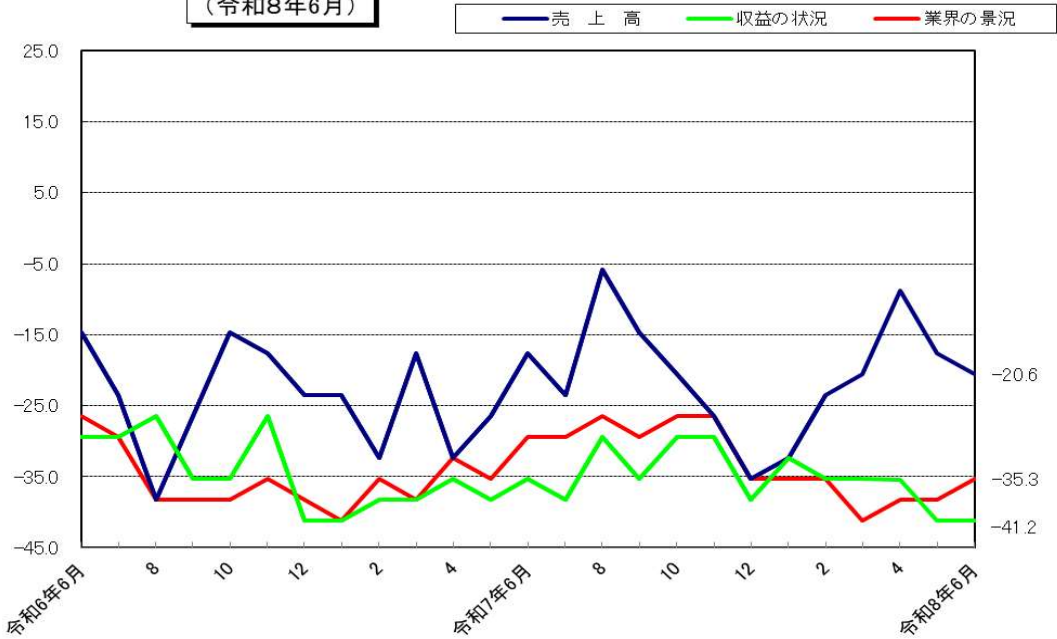
	売上高	収益の状況	業界の景況
製造業	▲ 13.3	▲ 46.7	▲ 53.3
	増加： 3 / 15	好転： 0 / 15	好転： 0 / 15
	不変： 7 / 15	不変： 8 / 15	不変： 9 / 15
	減少： 5 / 15	悪化： 7 / 15	悪化： 8 / 15
非製造業	▲ 21.1	▲ 36.8	▲ 36.8
	増加： 3 / 19	好転： 0 / 19	好転： 0 / 19
	不変： 9 / 19	不変： 12 / 19	不変： 12 / 19
	減少： 7 / 19	悪化： 7 / 19	悪化： 7 / 19
全体	▲ 17.6	▲ 41.2	▲ 38.2
	増加： 6 / 34	好転： 0 / 34	好転： 0 / 34
	不変： 16 / 34	不変： 20 / 34	不変： 21 / 34
	減少： 12 / 34	悪化： 14 / 34	悪化： 13 / 34



【6月分集計】

	売上高	収益の状況	業界の景況
製造業	▲ 6.7	▲ 46.7	▲ 40.0
	増加： 2 / 15	好転： 0 / 15	好転： 0 / 15
	不変： 10 / 15	不変： 8 / 15	不変： 9 / 15
	減少： 3 / 15	悪化： 7 / 15	悪化： 6 / 15
非製造業	▲ 31.6	▲ 36.8	▲ 31.6
	増加： 4 / 19	好転： 1 / 19	好転： 1 / 19
	不変： 5 / 19	不変： 10 / 19	不変： 11 / 19
	減少： 10 / 19	悪化： 8 / 19	悪化： 7 / 19
全体	▲ 20.6	▲ 41.2	▲ 35.3
	増加： 6 / 34	好転： 1 / 34	好転： 1 / 34
	不変： 15 / 34	不変： 18 / 34	不変： 20 / 34
	減少： 13 / 34	悪化： 15 / 34	悪化： 13 / 34

情報連絡員報告
(令和8年6月)



6月の県内各業界別の動向

(前年同月比)

	業 種	売上	在庫	販売	取引	収益	資金	操業	雇用	業界
		受注	数量	価格	条件	状況	繰り	度	人員	景況
製造業	食料品（団地） 県食品工業団地	☂	☂	☀	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	〃（酒類） 県酒造	☂	☂	☀	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	繊維製品（帆布製品） 県テント・シート	☀	☀	☀	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	木材・木製品（素材） 素材生産業	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	〃（一般/県域） 県木材	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	〃（一般/県域） 県建具	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	製紙（機械すき） 製紙工業会	☀	☀	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	製紙（手すき） 県手すき和紙	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	印刷（印刷） 県印刷	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	窯業・土石（生コン） 県生コンクリート	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	〃（コンクリート製品） 県コンクリート製品	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	鉄鋼金属（鍛造） 土佐刃物	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
	〃（団地） 機械工業団地	☂	☂	☀	☂	☂	☂	☂	☀	☂
	輸送機器（船舶機械） 四国建機	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☀	☂
	その他製造業（珊瑚） 日本珊瑚	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂
非製造業	卸売（団地） 卸商センター	☂	☂	☀	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（青果） 高知中央市場青果仲卸	☀	☀	☀	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（鮮魚） 高知中央市場鮮魚仲卸	☂	☂	☂	☂	☂	☂		☂	☂
	小売（一般/四万十町） しばてんカード	☀	☂	☂	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（家電） 県電機	☀	☀	☂	☂	☀	☂		☂	☀
	〃（中古車） 県中古自動車	☂	☂	☂	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（石油） 県石油商業	☂	☂	☂	☂	☂	☂		☂	☂
	商店街（安芸市） 安芸本町	☂	☂	☀	☂	☂	☂		☂	☂
	商店街（高知市） 商帯屋筋	☂	☂	☂	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（四万十市） 四万十市商振連	☂	☂	☂	☂	☂	☂		☂	☂
	サービス（旅館） 県旅館ホテル	☂		☂	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（飲食店） 喫茶飲食	☂		☀	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（旅行） 県旅行業	☂		☂	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（情報） IT事業	☂		☂	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（クリーニング） 県クリーニング	☂		☂	☂	☂	☂		☂	☂
	建設（一般/県域） 中村地区建設	☂		☂	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（電気工事） 県電気工事業	☀		☀	☂	☂	☀		☂	☂
	運輸（トラック） 高知総合輸送	☂		☂	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（タクシー） 高知市ハイヤー	☂		☂	☂	☂	☂		☂	☂

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	食料品製造業（団地）	消費者マインドの冷え込みなどもあり、売上は下げ止まり感が否めない。景況全体でも、あまり好転の兆しが見られない。中東情勢等によるエネルギー価格の上昇や為替変動による原材料価格の高騰にも気を払う必要もあり、先行きの不透明感が懸念材料になっている。
		酒類製造業	原料米の調達に関しては、令和8年産は前年産より価格が低下する見込みとなっており、製造コスト面では改善への期待が見られるが、昨年の主食用米高騰の影響により生産量が減少している銘柄もあり、供給面の課題が引き続き懸念される。販売面では前年並みで推移しているものの、物価上昇や価格改定の影響により消費者の節約志向は依然として強く、市場環境は厳しい状況が続いている。輸出については、引き続き堅調に推移している。
	繊維工業	帆布製品製造業	原材料の高騰を販売価格への転嫁が出来つつあると思われるなか、6月1日より中東情勢により原油・ナフサ価格の上昇および石油化学製品の供給環境の悪化の影響で、全製品の大幅な価格改定（15%～25%）がありました。（品薄状態も続きそうです。）販売価格への転換に厳しい状況が続くと思われます。
	木材・木製品	木製品素材生産業	6月期の原木出材量は、雨の影響もあり入荷は減少気味。丸太価格については、値下がりが続いていた一部ヒノキも下げ止まりの状況となっており、全体的にはほぼ横ばいで推移。7月に入り、高知県では中旬頃には梅雨明けとなることから、原木出材量は増えてくるとされる。しかしながら、丸太価格については、製品の動きが相変わらず鈍いため、大きな変動は見込めない。なお、虫害が多少増えてきており心配されるところ。
		一般製材業	資材供給不足が建築着工の遅れを招いているなど先行き不透明感が強い。
		建具製造業	ナフサ不足の影響が続き、組合員が一番使用する建材メーカーのアイカ工業のポリ合板、メラミン化粧板が値上りした。建具金物メーカーの商品も値上りが続いている。仕事量が減少しそうで心配している。
	紙・紙加工品	機械すき紙製造業	紙製品全体として、前年同月比で前月と同様に販売金額は上回った。しかし、生産量及び販売量は下回った。また、品目別では、前年同月比で雑種紙は販売金額が上回ったものの、販売量および生産量はともに下回った。衛生用紙は、販売金額および生産量が下回った一方で、販売量は上回った。なお、中東情勢の緊迫化は和らぎつつあるものの、会員企業の経営には依然として深刻な影響が及んでいる。
		手すき紙製造業	今月は、昨年度比で横ばいとなった。今年は世界情勢が悪化の状況で物価高騰が収まらない状態が続いており、今後更に景況感を悪化させる不安な声があがっている。今後の見通しがつかめない状況が続いている。
	印刷	印刷業	売上減、操業度低下。昨年は参議院選特需の影響もあり数字的には厳しかったが先月よりは改善の傾向も見られる。ただ全般的に県内は官公需、民需とも低迷。県外需要も一部の業種が低迷、他業種で一部好調な部分も見られたが厳しい状況が継続している。今後の動向としてよさこい高知文化祭2026の特需の話もでておりこれに期待したい。
	窯業・土石製品	生コンクリート製造業	6月度の組合員工場の出荷量は対前年比 90.6 %であった。また、4月からの累計出荷量は 80.5%で前月より若干多くなっている。地域的には、東部、嶺北、高幡地区は減少傾向にあるが、中央、中部、幡多地区は102～106%であった。
		コンクリート製品	対前年同月比262.3%。新たに3組合員の加入により、前年度より出荷が多くなっている。前年度と比較すると公共事業費は横ばいであることから、組合員の増加による影響と分析している。また、中東情勢が不透明であり、今後の資材調達に関して、業界への影響が懸念される。
	鉄鋼・金属	刃物・金物類製造業	当月は 昨年の同時期と比べ、月中旬には少し落ち込みは見えたものの終盤盛り返し、ほぼ同じ成績となった。在庫の方もあまり変動はないが、問合せ等少し低調になっている様に見える。
		金属製品製造業（団地）	中東情勢が再び緊迫化するなか、石油化学製品や建設資材などの調達難や納期遅れの懸念が再燃しつつある。団地内の業況は足踏み状態である。
	輸送機器	船舶製造・修理業	作動油類やその他副資材等の調達は現状落ち着いています。
	その他の製造業	装飾品・同関連品製造業	6月度の取引額は、前年同月比で61%と前年を下回る結果となった。
	卸売業	各種商品卸売業（団地）	外食、観光業界は閑散期の6月であるが、例年より低調な印象。中東情勢による経済への不安感や、物価高による買い控え等、低調を招く要因が多く、7月以降についても兆しが見えるというような状況では無い。仕入材料、ガソリン代等値上がりが続くため、厳しくなっている。
		青果卸売業	6月の取扱高は組合員全体で前年対比107.8%となった。先月に引き続き前年を上回ったが、全体を通して見ると好調とは言い難い。今年の1月から6月までの累計は98.3%となり、来月のお中元商戦に期待。
		生鮮魚介卸売業	今月も売上金額が約1割減少した。台風の影響があり鮮魚の入荷が少ない週があったのも関係している。カツオとマグロは順調に入荷しています。
	小売業	各種商品小売業（四万十町）	6月の町内の景気動向は、物価高支援で四万十町が配布した家計応援商品券の利用がまだ続いており若干の上昇傾向にある。未だ情勢が安定せず、食料品などは値上げも控えており、不安を感じている事業者さんが多い。また、先月末に会員である事業主さんが亡くなられたため、後継がお店を続けるのか、続けたとして当組合に残留するのか、返答を待っている状態である。
		電気機械器具小売業	6月度は、全商品金額平均で前年比104%。スタンダードエアコン：前年比で128%（エアコンの2027年問題も要因）。4K・8Kテレビ：前年比101%。リフォーム金額：前年比102%。
		中古自動車小売業	オークション相場が徐々に上がり始めており、これから先の不透明さはあるが在庫確保に重点を置いている。販売面では、先月同様注文や問い合わせ件数が増加している。

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業		ガソリンスタンド	6月25日現在の国からの補助金は6.0円/Lとなっております。元売り仕切り価格は毎週下がっておりますが、政府の補助金もさがっており、実質の仕入れはわずかながら毎週上昇しております。市況が大きく変わることは今のところないと思われませんが、もうすぐ政府の補助金もなくなるかもしれません。そうなると仕入れ価格の変動によりすぐに市況に影響がでるようになると思われます。
	商店街	安芸市	物価高や中東情勢による悪化が続くものの、一部軽減し改善が期待される。
		高知市	6月の駐車場利用台数は、前年同月比99.6%となり、前年同月より94台減少しました。一方、料金収入については前年同月比103.7%となり、前年同月より311千円の増収となりました。これは、定期収入の増加が主な要因と考えられます。また、人流カメラによる集計では、6月の来街者数は前年同月比4.3%減となりました。恒例の土曜夜市が6月27日（土）からスタートし、台風の影響も懸念されましたが、多くの来街者が訪れ、中心商店街はにぎわいを見せました。さらに、6月はクルーズ船の寄港が7隻あり、昼間時間帯における中心市街地への回遊を後押ししたものと考えられます。
		四万十市	人口減少による売上高の減少。エネルギー価格や資材の高騰による収益の悪化が感じられる。エネルギー価格上昇による補助金が市の方であり、大いに助かっている。
	サービス業	旅館・ホテル	宿泊、宴会共に前年並みに推移。夏以降のオンシーズンに期待。
		飲食店	台風や雨天の日が多く客足は遠の集客は前年同月を下回った。売上高でも前年同月を下回る、物価高により販売価格が上昇していることを考慮すると収益は相当悪化している。加えて物価高に業界の価格転嫁は追い付いておらず、業界の景況景況は悪化している。前年度同月に比べ更に物価は高騰。光熱費、仕入れ価格、人件費、すべての経費が上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
		旅行業	組合クーポン前年同月対比：76%。全旅クーポン合算後前年同月対比：74%。売上減少の要因は、先月同様（団体旅行の催行時期変更）と見通している。
		情報サービス業	今月の売上は例年より低い結果となった。5月以降は大型案件が少なく、需要が落ち着きを見せているため、7月以降は入札参加や新規開拓、新商品開発などに注力し、増収に向けた取り組みを強化していきたい。
		普通洗濯業	生活スタイルや衣類のカジュアル化へのシフト、インフレ傾向、物価高による消費者の節約志向の定着により、点数減が続いている。石油系溶剤など資材の上昇は続いており、一度は価格転嫁を行ったものの利益は減少している。一方、リネン・ユニホーム関係は好調を維持。ホテルリネンは人手不足が続いている。
	建設業	一般土木建築工事業	引き続き、資材価格高騰や人件費の高騰による収益率の低下がみられる。
		電気工事業	組合員の施行する電力引込線工事は、前年同月比83.1%となった。特に高知中央地区が同56.4%となったものの、香長地区が同605%と大幅に増加した。
	運輸業	一般貨物自動車運送業	アメリカ・イランが覚書に署名し、原油価格は下落したが、6月の国内の燃料事情は月初37円程あった政府補助金が一細りしたため実質2円程度の値上げとなった。荷動きも鈍いようで組合員企業は厳しい状態が続いている。
		一般乗用旅客自動車運送業	実働1日1車当りの前年同月対比運送収入：100.9%、回数：99.5%、実働率：51.1%。運賃改定に必要な要請書の数を作成したことで指定された事業者が原価計算資料をこれから作成し、運輸局ではそれに基づき査定に入ります。業界としては年内に値上げの認可申請ができれば、利用される皆様にはご理解いただきたいと思います。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
サービス業	情報サービス業	補助金などの最新情報があれば教えて頂きたい。
	飲食店	イラン有事の影響により、電気、ガス代の値上げが続いている。飲食店用の資材や包材も4月～5月中に30%以上の値上げが確定していて、円安による食材費の高騰と相まって、飲食店の利益が更に圧迫される。需要の減退を招くような値上げは出来ず、飲食店の自助努力は限界に近づいている感がある。
	普通洗濯業	石油系溶剤など資材価格の抑制。